

(別紙6)

茨城県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る評価報告

1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

今般、イノシシの生息域が拡大傾向にあることに加え、ニホンジカの生息も確認されている一方、狩猟の担い手は減少・高齢化が進んでいるため、担い手の確保が大きな課題となっている。

このため、鳥獣の捕獲等に専門性を有し、安全かつ効果的に捕獲等を実施できる認定鳥獣捕獲等事業者を育成するための講習会を開催し、県内の捕獲の担い手となる法人の確保を図り、捕獲に取り組む体制づくりを進める。

2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

実施時期	令和7年9月13日(土)、14日(日)
場所	茨城県狩猟者研修センター
目的	認定鳥獣捕獲事業者の従事者及び認定を目指す者等を対象に、適正かつ効率的に鳥獣の捕獲等をするために必要な技能及び知識に関する講習会を開催し、県内事業者の育成を図る。
対象者・講師 (人数も記載)	【対象者】認定鳥獣捕獲事業者の従事者及び認定を目指す者 44名 【講師】株式会社ROOTS、日本赤十字社茨城県支部
内容	・安全管理及び技能知識講習会(座学 1.5日間) ・救急救命講習(実技 0.5日間)
方法	委託業者に資料の作成、会場運営及び講師を委託して実施
評価方法	既存の認定鳥獣捕獲事業者の従事者の増加及び新規の捕獲事業者の認定や、活動状況等によって事業の評価を行う。
事業費	1,353,000円
備考	

注1: 項目に沿って、実施した研修会等の具体的内容を記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性の検証方法や事業効果の測定方法等を記入すること。

注2: 事業終了後の評価結果では、各項目について、実施した結果を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価結果時のみ記入）

県内の認定鳥獣捕獲事業者である、合同会社日本自然調査機構、株式会社HUNTERxKING及び一般社団法人茨城県猟友会の従事者計44名が講習会に参加した。

講習会では、①技能知識講習、②安全管理講習、③救急救命講習を実施し、安全かつ効果的に捕獲等に取り組む体制づくりを進めることができた。

認定鳥獣捕獲等事業者や捕獲従事者を確保し、効率的に鳥獣捕獲等を実施するため、継続的に取り組む必要がある。

注：1の課題及び2の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、目的に対して効果があったか等の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった取組の改善点や今後の認定事業者の育成の課題等についても記入すること。

4 その他

特になし

注：特記すべき事項があれば記入すること。